

次年度に向けた改善方策

- ① 数値目標は、下記項目を設定する。
 - 面接、校内研修により授業内容を工夫改善し、生徒が理解しやすい授業にする。
「授業内容はよく理解できる」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 全教員と外部指導員で部活動等を充実させ生徒の個性の伸長を図り、充実感を更に高める。
「部活動は充実している」という生徒の割合 75%以上を目指す。
 - 「学び舎」と地域の連携活動をより充実させ、地域と共に育てる教育を推進する。
「地域の活動や行事によく協力してくれる」という地域の割合 75%以上を目指す。
- ② 生徒が主体的に活動する機会を設定・活用し、生徒が自己肯定感・有用感が持てるようにする。
 - ・生徒が企画し、運営していく行事などを計画的に実施し、また、その機会を増やしていく。
 - ・部活動のさらなる充実を図り、生徒一人一人に目標を持って取り組ませていく。
- ③ 地域運営学校として地域との連携をさらに高めていく。
 - ・地域ボランティア活動に生徒が積極的に参加していくようにはたらきかけていく。
 - ・大規模災害等において地域と一体となって対応できるように、避難所運営訓練等の内容の改善を図っていく。
- ④ 学校からの情報発信機能のさらなる充実を図る。
 - ・保護者や地域の方が求めている情報と学校から発信している情報との間に乖離がないか精査し、可能な限り保護者や地域の欲つしている、生きた情報の提供を行っていく。
 - ・次年度から開始予定の緊急メールシステムとのすみ分けを行いつつ、HPの即時性を高め、防災や安全確保状況、行事の連絡などの的確に発信していく

前年度の改善方策について実行した改善結果

- ① 数値目標は、同じ項目に設定した。
 - 内容・実施策等を更に検討することにより、充実を図る。全体では3項目とも目標値を上回った。
 - ・授業改善を推進し全体で肯定的評価が77%となり、改善が見られた。各学年もそれぞれ77%となつた。
 - ・部活動の活動の充実を推進し、部活満足度、2年生は81%で前年度より10%増、3年生は1%微減、1年生は79%。全体で76%となつた。
 - ・地域からの評価は、肯定的評価が84%と高い評価を得た。今後も地域との連携を強化していく。また、さらに生徒の地域防災への意識を高め、充実を図っていく。
- ② 2年生の学習指導、生活指導、学校行事、部活動等の充実。
 - ・学習指導では目標を持って学ぶ姿勢の育成、生活指導では、一人一人が達成したことを適正に評価することなどを行ってきた。それによって、1年生や3年生と比較して、2年生の落ち込みはほとんど見られなくなった。
- ③ 「桜咲く深緑の学び舎」の諸活動を充実することで、地域との連携を深めていく。
 - ・三校で共通し、挨拶運動や地域行事参加など地域連携活動に取り組んだ。地域の方からの評価は高い。生徒を主体とした避難所運営訓練を実施してきたが、地域防災機能の充実については今後も改善していくことが求められている。
- ④ 学校からの情報発信機能の充実を図る。
 - ・ホームページの充実については今年度もあまりよい評価とは言えない。ホームページの内容について改善を図っていく必要がある。また、防災や安全確保状況等を的確に発信していくことを今後も継続し、改善していくことが必要である。